

# 国際化する経済と企業

佐藤仁志 経済産業研究所 (RIETI)

2012/3/8

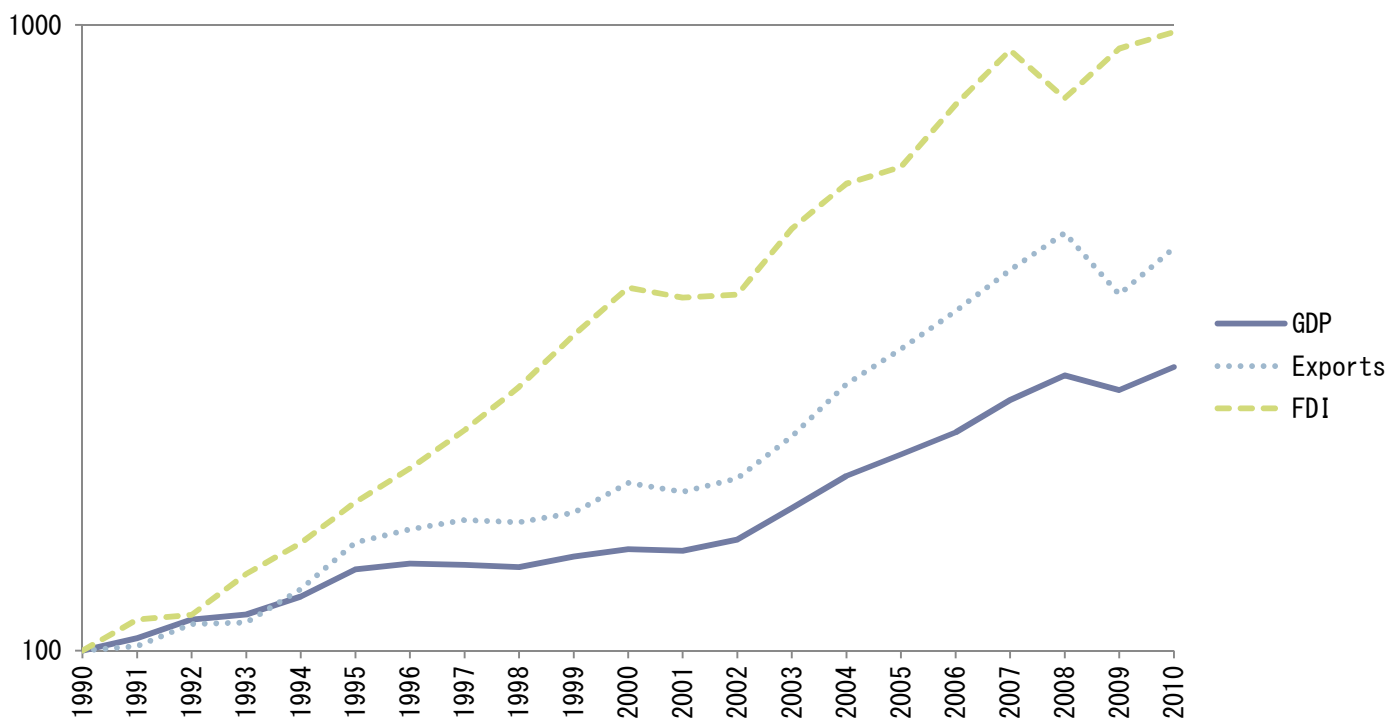
# 構成

---

- ▶ 世界経済と貿易、直接投資
- ▶ 日本経済の国際化
- ▶ 企業から見た経済の国際化の含意
- ▶ 国際化を利するために
  - ▶ 間接輸出
  - ▶ 輸入の活用
  - ▶ 国際化の相補性

# 世界経済と貿易、直接投資

- ▶ 世界的に貿易と直接投資はGDPを上回るペースで成長



(出所)UNCTAD、1990年を100として縦軸は対数表示

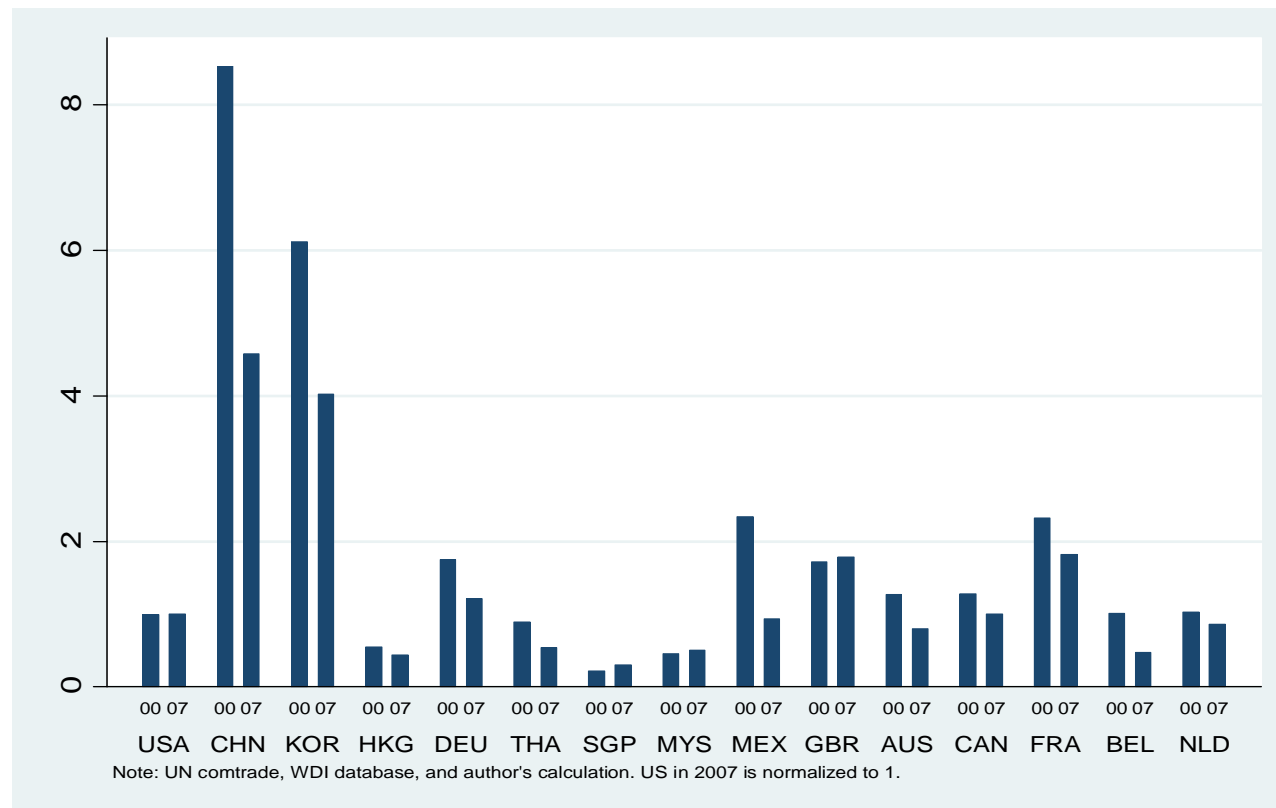
# 各地域の海外市場とのつながりの深化

- ▶ 1990年代以降の輸出の海外市場所得弾力性は、北米を除いてどの地域も上昇
- ▶ 海外市場の所得の変化に対し、輸出の変化はより大きなものとなっている

輸出の海外市場所得弾力性の推計（1971-2007年）						
被説明変数はいずれも輸出成長率	東アジア・大洋州	欧州・中央アジア	中南米	北米	南アジア	世界
GDP成長率	1.232** (0.416)	1.119*** (0.303)	1.426*** (0.346)	1.947*** (0.486)	-0.115 (0.796)	1.951*** (0.277)
D90*GDP成長率	1.149** (0.395)	0.539* (0.261)	0.930** (0.298)	0.242 (0.355)	1.859** (0.671)	1.019*** (0.226)
サンプル数	37	37	37	37	37	37
Adjusted R2	0.388	0.283	0.412	0.434	0.109	0.665
出所：World Bank, WDIデータベースから筆者推計。						
備考：括弧内は標準偏差。* p<0.05, ** p<0.01, *** p<0.001。スペースの関係上、アジア経済危機ダミー、IT不況ダミーは表示していない。						

# 日本経済の国際化

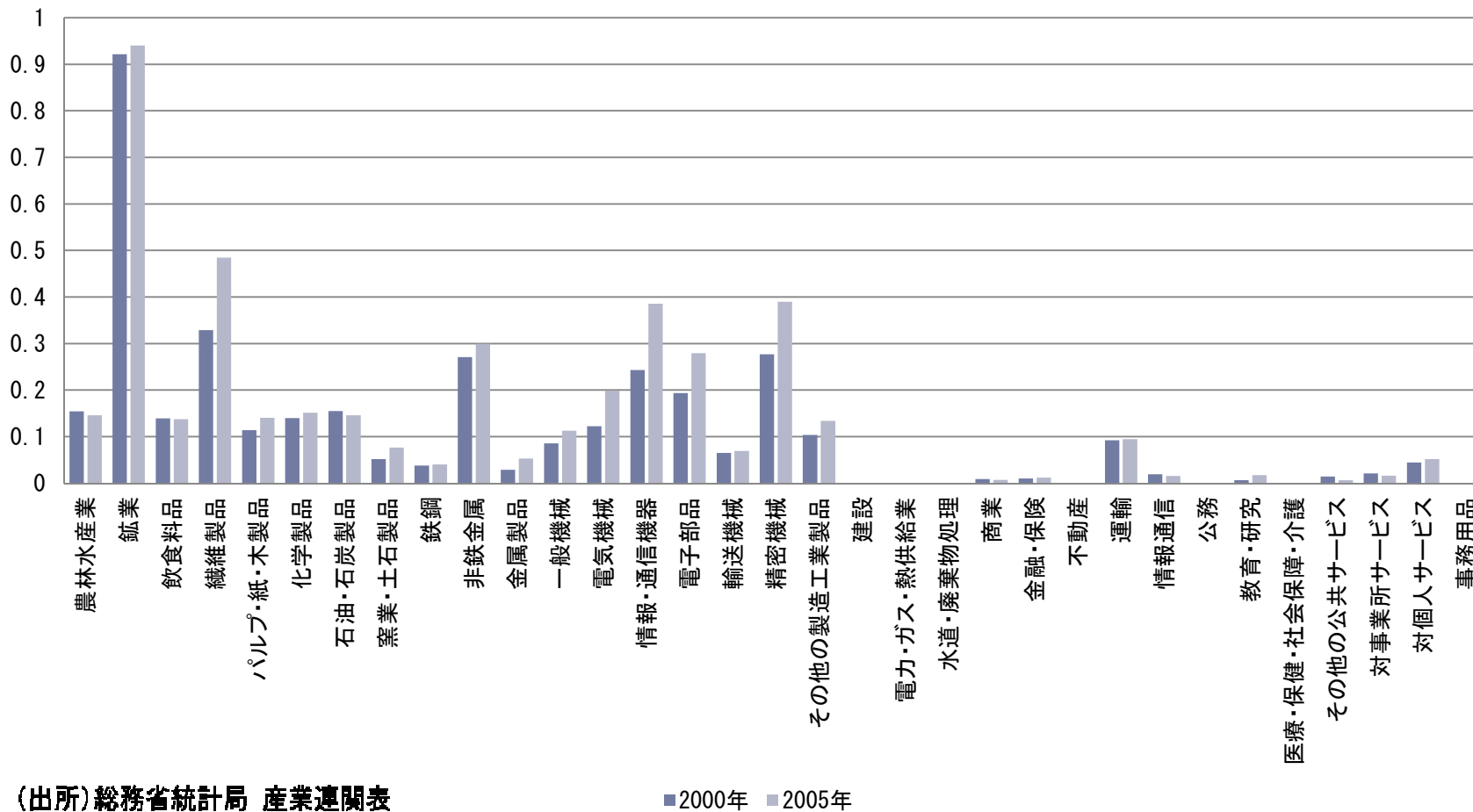
- ▶ 主要貿易国と日本との間の貿易障壁は下がっている



(備考) 簡単な重力モデルで市場規模、地理的距離などを勘案し、2007年の米国を1として貿易障壁を指標化

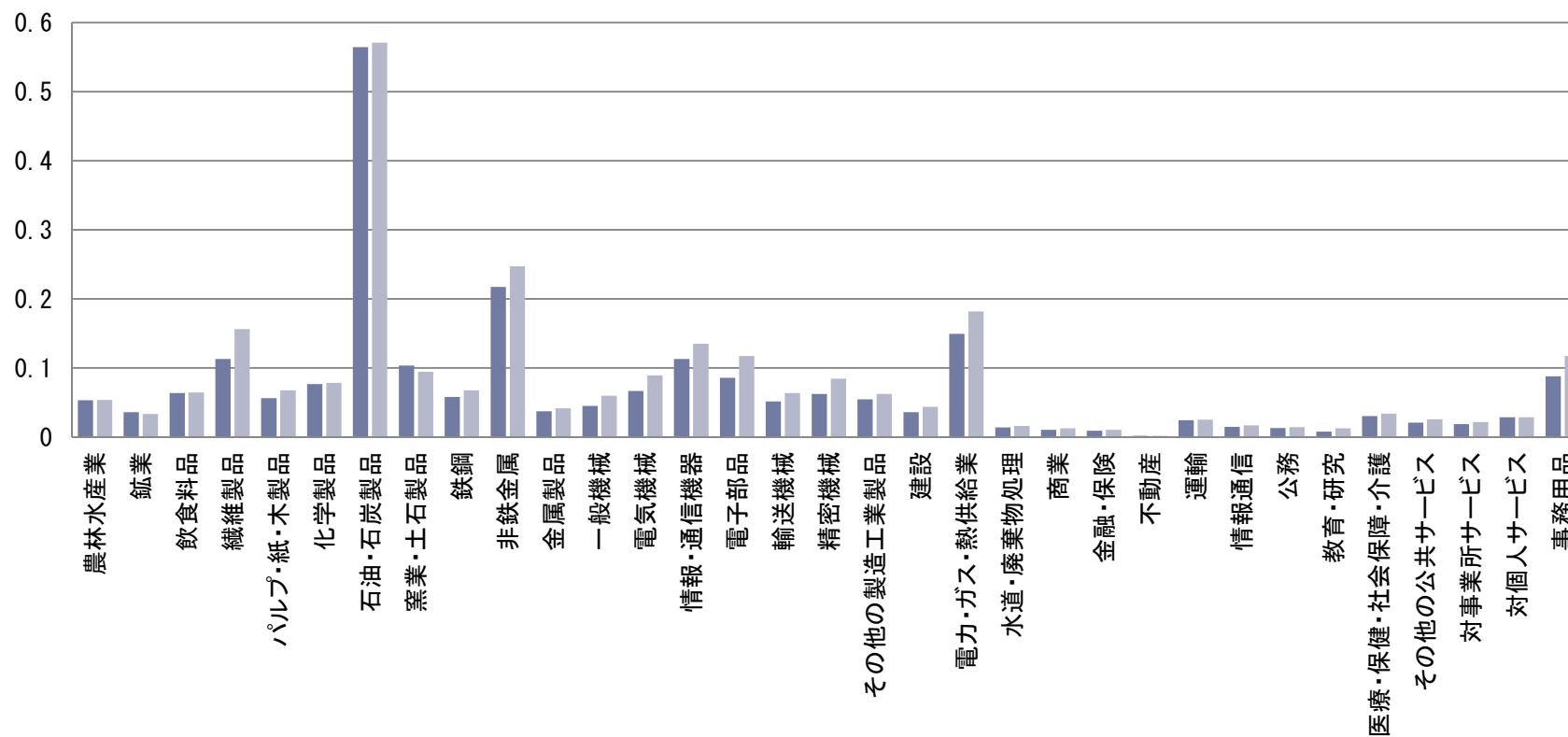
# 製造業を中心に輸入浸透率（国内需要に占める輸入の割合）は上昇する傾向

## 輸入浸透率の変化



# 中間投入でも輸入財の利用が増加する傾向

## 輸入品投入係数の変化

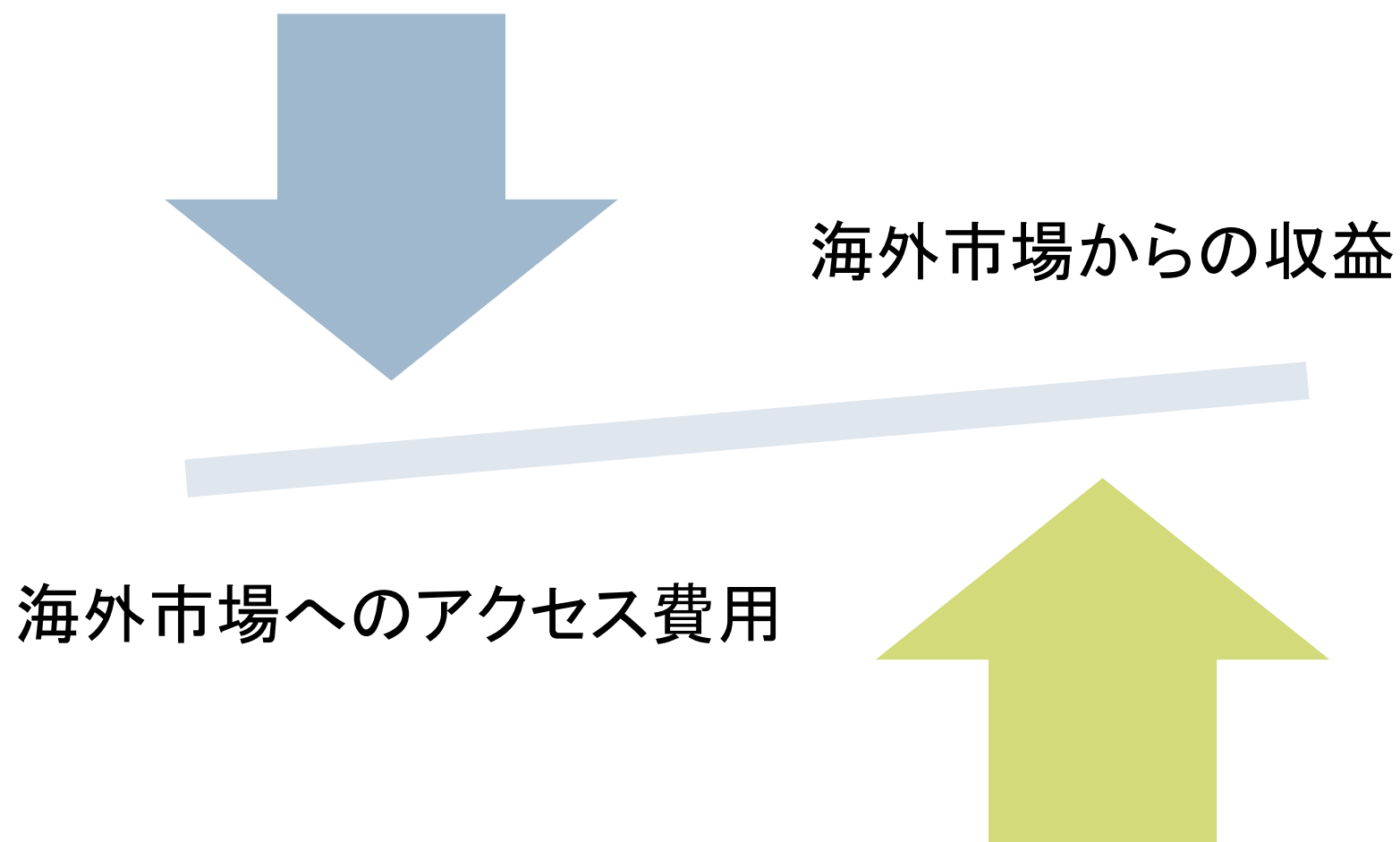


(出所)総務省統計局 産業連関表

■ 2000年 ■ 2005年

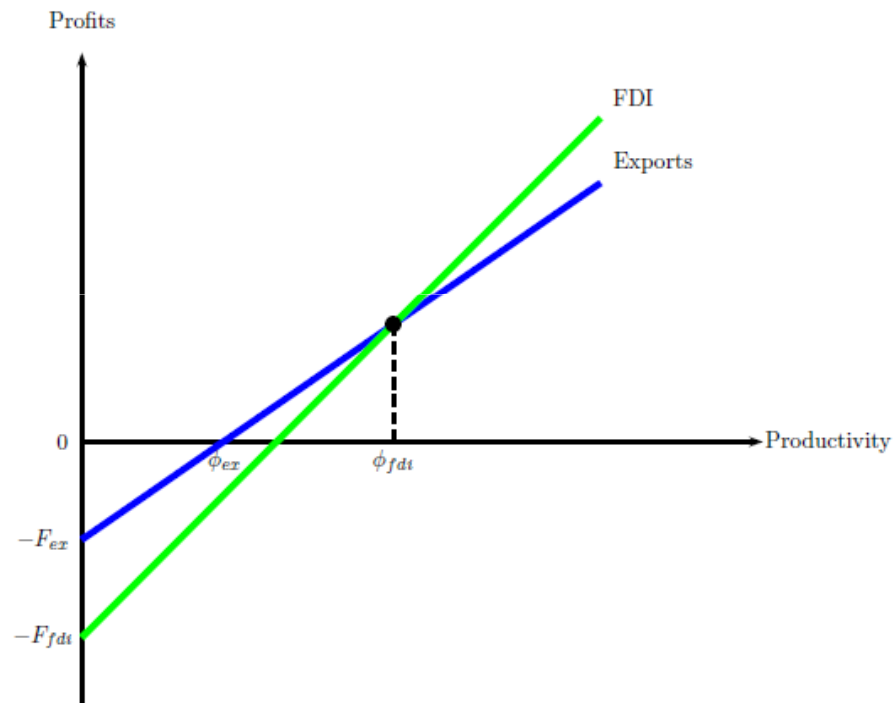
# 企業から見た国際化：海外進出のケース

---





# 企業の生産性と海外進出（Melitzモデル）



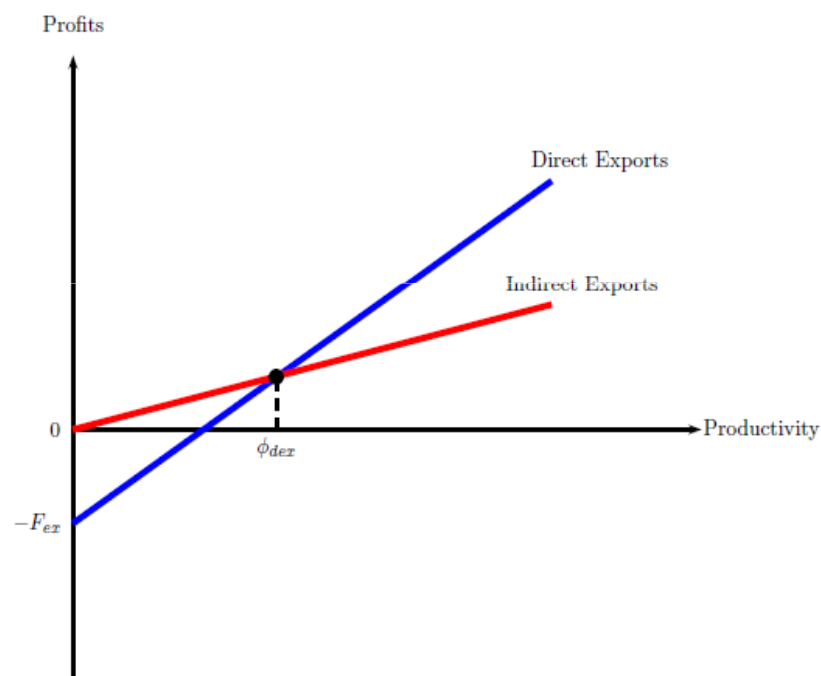
- ▶ 輸出や対外直接投資には固定的な費用が必要（市場開拓や製品仕様の変更などの費用）
- ▶ それらの固定費用を回収するのに十分な販売量が見込まれる企業だけが輸出や直接投資を行う
- ▶ 最も生産性の高い企業が直接投資を選択し、次に生産性の高い企業が輸出を選択する
- ▶ 生産性の低い企業は国内市場だけに供給する

# 企業から見た経済の国際化の含意

---

- ▶ 国内市場をみると…
  - ▶ 国内市場に参入してくる海外企業も生産性の高い企業であり、国内の競争は激化
  - ▶ 海外進出を果たした企業の国内生産拡大により、生産要素価格が上昇
- ▶ いずれの変化も国内経済全体にはプラスに働くが、国際化しなかった企業にとっては不利に働く  
⇒最も生産性の低い企業は市場からの退出を迫られる

# 間接輸出によって市場アクセスは容易に



- ▶ 市場開拓や販売網の整備などのタスクを自ら行う直接輸出
- ▶ 市場開拓や販売網の整備などのタスクを代行
- ▶ 海外市場参入の固定費用を下げることでより生産性の低い企業が輸出を開始
- ▶ 当初は間接、いずれ直接に転換など

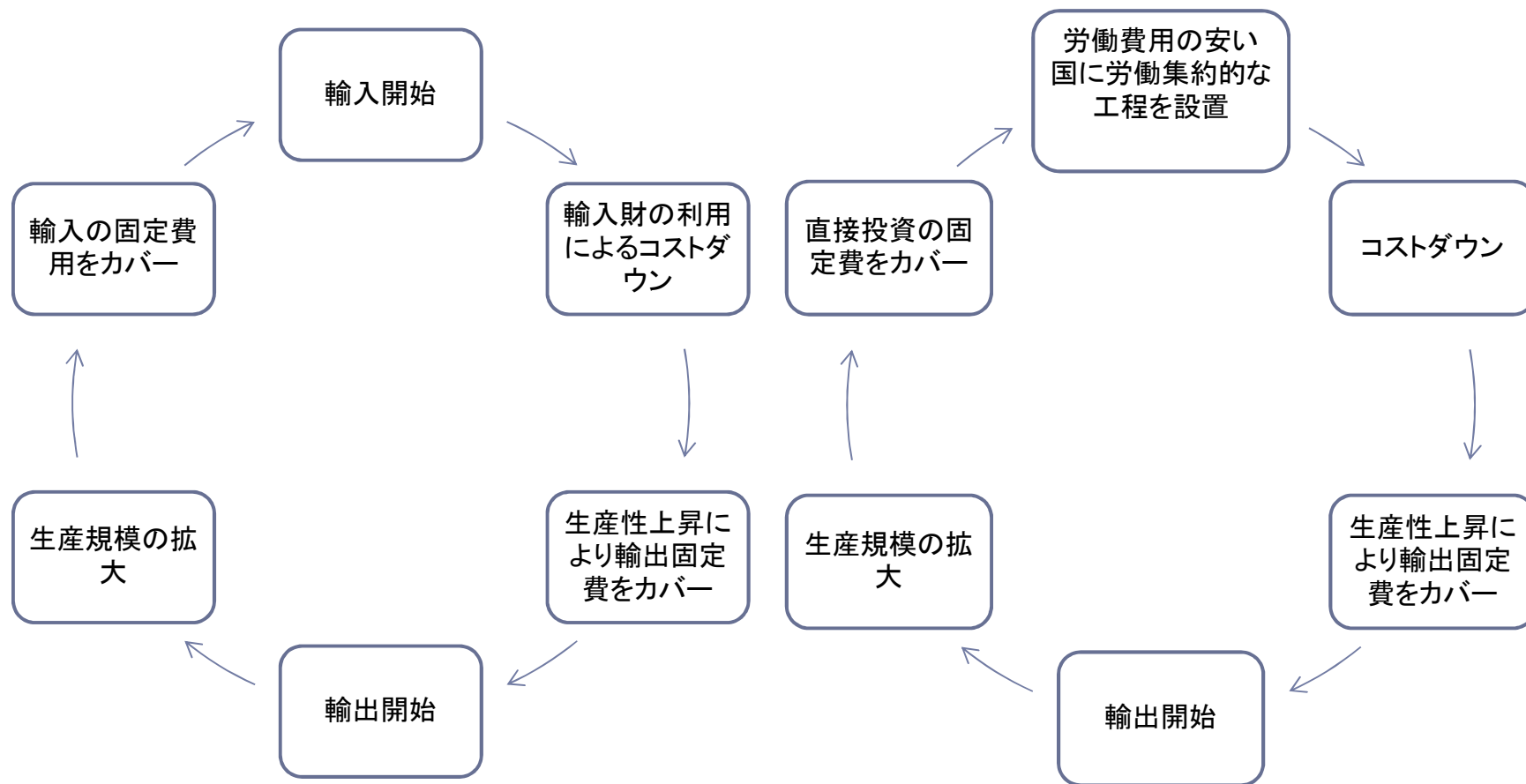
# 輸入の活用

---

- ▶ 輸入拡大の効果
  - ▶ 財の価格低下
  - ▶ 財の多様化
  - ▶ 供給先の多様化
- ▶ 中間投入財に輸入財を用いることで、生産コストを低下
- ▶ 輸入財(またはサービス)の利用にも一種の固定費用が必要  
⇒より生産性の高い企業が輸入財の利用にも積極的



# 企業活動の国際化の相補性（例）



# まとめ

---

- ▶ 経済の国際化は世界的な潮流。日本と海外市場の結びつきもより強くなっている
- ▶ 経済の国際化は、日本経済にとって様々なプラス面
  - ▶ 輸出入の拡大、直接投資の拡大
  - ▶ 労働や資本などの企業間、部門間再配分
  - ▶ 知識や技術の伝播
- ▶ しかし、国際化しない企業にはマイナスの影響
- ▶ 輸出・輸入、直接投資、海外生産委託など何らかの形で経済の国際化の果実を得ることは重要
  - ▶ 参入費用を下げる、生産性を上げる
  - ▶ 国際的な活動の相補性

